

中間評価（表紙）

甲州市 歴史的風致維持向上計画(平成29年3月17日認定)
中間評価(平成29年度～令和3年度)

■ 統括シート(様式1).....	2
■ 方針別シート(様式2)	
I 歴史的建造物等の保存・活用.....	3
II 農業景観の保全.....	4
III 歴史的建造物等を取り巻く周辺環境の景観保全.....	5
IV 歴史と伝統を反映した人々の活動の支援.....	6
V 歴史的風致の認識向上と情報発信.....	7
■ 波及効果別シート(様式3)	
i 文化財の保存・活用の充実.....	8
ii 景観保全に関する意識の醸成.....	9
iii 観光交流客数の増加.....	10
■ 代表的な事業の質シート(様式4)	
A重要文化財旧高野家住宅美装化事業.....	11
B塩山駅周辺都市再生整備計画事業.....	12
■ 歴史的風致別シート(様式5)	
1 武田信玄の菩提寺・恵林寺の「しんげんさん」にみる 歴史的風致に見る歴史的風致.....	13
2 熊野神社の御幸行列にみる歴史的風致.....	14
3 武田家終焉の地にみる歴史的風致.....	15
4 神部神社と金井加里神社の祭礼にみる歴史的風致.....	16
5 塩ノ山南麓の市街地の営みにみる歴史的風致.....	17
6 甲州街道勝沼宿にみる歴史的風致.....	18
7 大善寺の藤切り祭にみる歴史的風致.....	19
8 コロガキ生産にみる歴史的風致.....	20
9 ブドウ栽培にみる歴史的風致.....	21
10 笛吹川水系のセギにみる歴史的風致.....	22
■ 庁内体制シート(様式6).....	23
■ 住民評価・協議会意見シート(様式7).....	24
■ 全体の課題・対応シート(様式8).....	25

市町村名	甲州市	評価対象年度	H29～R3年
① 歴史的風致			
	歴史的風致	対応する方針	
1	武田信玄の菩提寺・恵林寺の「しんげんさん」にみる歴史的風致	I, V	
2	熊野神社の御幸行列にみる歴史的風致	I, IV, V	
3	武田家終焉の地にみる歴史的風致	I, IV, V	
4	神部神社と金井加里神社の祭礼にみる歴史的風致	I, III, V	
5	塩ノ山南麓の市街地の営みにみる歴史的風致	I, III, V	
6	甲州街道勝沼宿にみる歴史的風致	I, V	
7	大善寺の藤切り祭にみる歴史的風致	I, IV, V	
8	コログキ生産にみる歴史的風致	I, II, V	
9	ブドウ栽培にみる歴史的風致	I, II, V	
10	笛吹川水系のセギにみる歴史的風致	II, V	
② 歴史的風致の維持向上に関する方針			
	方針		
I	歴史的建造物等の保存・活用		
II	農業景観の保全		
III	歴史的建造物等を取り巻く周辺環境の景観保全		
IV	歴史と伝統を反映した人々の活動の支援		
V	歴史的風致の認識向上と情報発信		
③ 歴史まちづくりの波及効果			
	効果		
i	文化財の保存・活用の充実		
ii	景観保全に関する意識の醸成		
iii	観光交流客数の増加		
④ 代表的な事業			
	取り組み	事業の種別	
A	重要文化財旧高野家住宅美装化事業	歴史的風致維持向上施設	
B	塩山駅周辺都市再生整備計画事業	その他	

市町村名	甲州市	評価対象年度	H29～R3年
方針	I 歴史的建造物等の保存・活用	今後の対応	継続展開

① 課題と方針の概要

当市の歴史的風致を構成する歴史的建造物は、指定文化財である建造物をはじめ、未指定の建造物も多数存在している。保存に関しては文化財指定されている建造物には修理に際して補助金交付等の施策があるものの、未指定の建造物に対しては適切な維持管理は所有者に委ねるしかない現状である。歴史的建造物について、指定文化財は文化財保護法に基づき保存・活用を図り、指定文化財以外の建造物は調査を実施するなどして積極的な指定に努めるほか、本計画に基づき修理等への支援を実施する。

② 事業・取り組みの進捗

	項目	推移	計画への位置付け	年度
1	重要文化財旧高野家住宅美装化事業	附属屋4件の外観美装化修理を実施。	あり	H29～30
2	史跡勝沼氏館跡保存整備事業	1件東屋の屋根葺き替え及び構造補強に係る工事の実施。	あり	H29
3	歴史的風致形成建造物等整備事業	歴史的風致形成建造物1件の修繕の実施。	あり	R2
4	国登録有形文化財への積極的な登録	国登録有形文化財へ新たに24件登録。	なし	H29～R3

③ 課題解決・方針達成の経緯と成果

●文化財美装化・整備事業

重点区域内の経年劣化が著しい文化財・史跡について、美装化及び保存整備を行ったことにより、文化財保存維持及び歴史的風致の向上に繋がった。



■旧高野家住宅 附・文庫蔵
外壁の黒漆喰の色が落ち、美観が損なわれているほか、土間のたたきが劣化し活用に支障が出ていた。（平成29年度）



■勝沼氏館跡 東屋
史跡勝沼氏館跡内に設置された東屋を再整備として、屋根葺き替え及び構造補強を実施した。（平成29年度）

●登録有形文化財登録

歴史的風致内の未指定の建造物について、積極的に国・登録有形文化財調査を実施し、登録を行った。

このことにより、地域の歴史的建造物の保存活用とともに、価値の再認識や意識の醸成に繋がった。



■くらむぼんワイン 主屋

峡東地区に多く見られる切妻屋根の養蚕推奨型の建物。建物内部には、大正から昭和にかけてのワイン関連用具が展示されている。（令和元年度）

④ 自己評価

文化財美装化・整備事業、歴史的風致内の未指定の建造物について、積極的に文化財調査・指定を行うことにより、当該建造物の保存・歴史的風致の維持向上をするとともに、価値の再認識、意識の醸成に繋がったと考える。

⑤ 今後の対応

今後も指定文化財は文化財保護法に基づき保存・活用を図り、指定文化財以外の建造物は調査を実施するなどして積極的な指定に努める。また、経年劣化により修理を要する重点区域内の指定文化財・歴史的建造物については、本計画に基づき計画的に支援を進める。

市町村名	甲州市	評価対象年度	H29～R3年
方針	Ⅱ 農業景観の保全	今後の対応	継続展開

① 課題と方針の概要

当市を代表する風景として、塩山地域のモモやスモモ畑が山裾に展開している風景や季節的に現れるコロガキを干す風景、また勝沼地域のブドウ畑が台地を覆いつくしている風景などが挙げられる。しかし、生産者の高齢化や後継者不足は深刻で、耕作されない農地が遊休農地や耕作放棄地となり、良好な農業景観づくりを阻害する恐れがある。そのため耕作放棄地の解消対策として、幅の狭い農作業道の整備を行い担い手への利用集積等を図る。また、市民農園の利用促進や、農業体験（甲州市農村ワーキングホリデー）、新規就農者の確保や後継者育成を推進する。

② 事業・取り組みの進捗

	項目	推移	計画への位置付け	年度
1	農業基盤整備促進事業	農作業道の整備を実施。	あり	H29～R3
2	甲州市農村ワーキングホリデー	農業体験43件受入れ。	あり	H29～R3
3	ブドウ棚架け補助事業	10件補助。	なし	H30～R3
4	重要文化的景観選定に向けた取り組み	地域散策・展示会・広報紙発行教育現場での出張授業の実施。	なし	H29～R3
5	世界農業遺産認定に向けた取り組み	年1回シンポジウム開催。	なし	H29～R3

③ 課題解決・方針達成の経緯と成果

●農村ワーキングホリデー

モモ、スモモ、ブドウ等の農家の手助けを行い、参加者が自らも作業を通じて農業技術の向上を図った。

平成29年度から30年度は、コロガキづくり体験を行った（収穫・皮むき・干し作業等）。

令和元年度は、市内ワイナリーを中心に醸造・ブドウ畑の石積み・ブドウ畑の棚掛け・野菜収穫体験を実施した。また、地域の食材を使った料理教室を開催した。

令和2年度は農業に興味があり進学を考えている高校生を受入、実施した。



- ・平成29から30年度
ころ柿ワーキングホリデー
- ・令和元年度
甲州市大菩薩バレー農業・農村体験ツアー
- ・令和2年度
農村ワーキングホリデー

年度	H29	H30	R1	R2	R3
受入件数	7件	3件	28件	5件	0件

●農業基盤整備促進事業

農業をより効率的に継続していくために、幅の狭い農作業道について整備を実施した。

これによって周辺農耕者の農業効率と生産性の向上が期待できる。



④ 自己評価

農村ワーキングホリデーを通して新規就農者の育成を行っているが、令和2年度から令和3年度はコロナ禍の中で参加者の受入が困難だった。

⑤ 今後の対応

今後も農業経営の安定や農作業の効率化を図るとともに、担い手への農地利用集積を促進し、生産組織の育成や強化を推進することで、生産量の向上及び安定を図る。農業体験など就農支援事業を通じて新規就農者の確保や後継者育成を推進する。

市町村名	甲州市	評価対象年度	H29～R3年
方針	Ⅲ歴史的建造物等を取り巻く周辺環境の景観保全	今後の対応	継続展開

① 課題と方針の概要

伝統的建造物群保存地区である塩山下小田原上条では、見学の便を図るため統一した形状・色彩によるサイン計画を進めているが、駐車場やトイレなどの施設が不足している。甲州市景観計画などとも整合性をとりながら駐車場やトイレ設置について検討し、計画的な整備を実施する。
 また、市内には保存地区以外にも社寺を中心とした町並みをもつ集落や農村景観、良好な景観を作り出している歴史的建造物がある。修理を行う際には、周囲の景観を阻害しないよう、材料や工法を検討し実施する。

② 事業・取り組みの進捗	項目	推移	計画への位置付け	年度
1	歴史文化の発信事業	市内に新たに25件の案内看板設置。	あり	R29～R3
2	歴史的風致散策・景観形成協働事業	60件の修景補助	あり	R29～R3
3	歴史的風致散策・景観形成協働事業	ワークショップ・イベントの開催。 広報紙発行（定期的）。	あり	H29～R3
4	施設整備事業	鳥居焼き遊歩道整備事業1件。	なし	R3

③ 課題解決・方針達成の経緯と成果

●文化財の周辺環境の保全に関する具体的な計画

重点区域「勝沼地区」では、「勝沼のブドウ畑とワイナリー群」について文化的景観の調査を行うとともに、山梨県及び山梨市・笛吹市と共同で取り組んでいる「峡東三市による日本農業遺産・世界農業遺産登録」により、ブドウ畑の景観を残すこととする。「勝沼のブドウ畑とワイナリー群」文化的景観調査は山梨大学との共同研究として、平成28年度から平成30年度まで3カ年実施し、令和元年度から保存活用計画策定に向けた取り組みを実施している。

【普及啓発】

- 平成29年度 パンフレット刊行、現地散策
- 平成30年度 地元小学校と連携した地域探検・成果発表会
- 令和元年度 調査報告書概要版刊行、ワークショップ・現地散策
- 令和2年度 ケーブルテレビを活用した普及啓発番組制作
- 令和3年度 現地散策、広報紙発行



■地元小学生との現地散策（令和2年度）

●鳥居焼き遊歩道整備事業（令和3年度）

毎年10月第1日曜日に開催される「かつめまぶどう祭り」の最後に伝統行事として「鳥居焼き」を行われる。その焼き場の遊歩道を観光客が安全により歩きやすくするために、再整備を実施した。



■鳥居焼き場（令和3年度）
遊歩道からの眺めは、歴史的風致範囲を見渡せる眺望ポイントとなっている。

④ 自己評価

重要文化的景観の選定及び峡東三市による世界農業遺産登録に向けた取り組みは、農業景観の保全に対する地域住民の意識醸成のきっかけとなった。

⑤ 今後の対応

重要文化的景観の選定及び峡東三市による世界農業遺産登録に向けた取り組みを継続していく。
 一方、甲州市塩山下小田原上条伝統的建造物群保存地区について、駐車場やトイレなどの公益施設の整備を行い、地区内の環境整備を計画的に実施していく。

市町村名	甲州市	評価対象年度	H29～R3年
方針	IV 歴史と伝統を反映した人々の活動の支援	今後の対応	継続展開

① 課題と方針の概要

当市の維持向上すべき歴史的風致を構成する、歴史と伝統を反映した人々の活動は、熊野神社の御幸行列、恵林寺の「しんげんさん」、向嶽寺の「あきやさん」、大善寺の藤切り祭などの祭礼や文化財の保護保存をはじめ、ブドウ栽培やワイン醸造、コログキづくりなどの営農・地場産業にいたるまで息づいている。担い手の育成や各種の支援策を駆使するとともに、担い手である地区住民の意識の向上を図るため、講演会やイベントなどを通じてその重要性や地区との関連性を再認識できるように働きかける。

② 事業・取り組みの進捗

	項目	推移	計画への位置付け	年度
1	市内伝統芸能・祭典継承事業	県指定3件、市指定2件の伝統芸能・祭典支援の実施。	あり	H29～R3
2	伝統芸能・祭典道具修繕	2件の修繕補助。	あり	R1～R2
3	伝統芸能の披露	1件国立劇場公演	なし	R1
4	甲州市農村ワーキングホリデー	農業体験43件受入れ。	あり	H29～R3

③ 課題解決・方針達成の経緯と成果

●市内伝統芸能・祭典継承事業

市内で行われる伝統芸能・祭典などについて、市内5つの団体に補助金を交付して伝統芸能の継承を図るとともに、団体の維持運営状況の把握に努めながら支援を行った。

また、後世まで継承されるよう、主催者に資料や情報を提供、記録撮影を行った。



■一之瀬高橋の春駒(県指定文化財)

一之瀬高橋の春駒の保存会では定期的に会議を行うとともに、伝承芸能の練習を行った。毎年小正月の1月上旬に伝承芸能の披露をするだけでなく、令和元年7月には国立劇場にて公演を行い、広く魅力を発信した。

●伝統芸能・祭典道具修繕

○山村打ちばやし活性化事業(令和元年度)

熊野神社の例大祭の渡御行列にて行われる笛に合わせてバチさばきを演じる伝統太鼓芸である「打ちばやし」を地元小学校と連携して歴史学習を行うとともに、浴衣の汚れ・破損修繕を行った。



○藤木道祖神祭太鼓乗り太鼓修理事業(令和2年度)

藤木道祖神祭太鼓乗りで用いるメインの太鼓は劣化損耗が激しく、一部割れている箇所もあった。次回の祭りに備えて、修繕を行い万全の状態にした。

④ 自己評価

劣化損傷が課題であった伝統芸能・祭典道具の修繕を実施することができ、より魅力ある伝統芸能の継承・発信をすることができた。

⑤ 今後の対応

魅力ある伝統芸能の継承のため、市内伝統芸能・祭典継承事業を継続して実施する。また、担い手の高齢化等もあり、今後伝統芸能・祭典継承が困難になっていくことが予想されるため、積極的に若者に啓発していくとともに、地域のコミュニティの活性化を努める。

市町村名	甲州市	評価対象年度	H29～R3年
方針	V 歴史的風致の認識向上と情報発信	今後の対応	継続展開

① 課題と方針の概要

当市の維持向上すべき歴史的風致は、当市の特徴を遺憾なく発揮した固有の資源であり、これを維持向上するのは、歴史や文化、伝統を今後のまちづくりに活かそうとする市のアイデンティティの確立のためであると同時に、観光資源としてより多くの交流人口を増やす施策のためでもある。

市民だけでなく、市の内外に広く発信し多くの見学者を招き入れることで、当市固有の歴史的風致が認識され、維持向上しようとする意識の高揚につながるものと考え、案内・誘導看板の設置及びパンフレットの作成を行い、幅広く情報発信していく。

② 事業・取り組みの進捗

	項目	推移	計画への位置付け	年度
1	歴史文化の発信事業	英語、フランス語、簡体字中国語、繁体字中国語、韓国語の5ヶ国語のパンフレット作成(各 5,000部)。	あり	H29
2	歴史文化の発信事業	市内に新たに25件の案内看板設置。	あり	H29～R3
3	歴史的風致散策・景観形成協働事業	5年間で20回散策実施。 文化財を活用したイベント22回実施。	あり	H29～R3
4	歴史文化の発信事業	市内に日本遺産3件認定。	なし	R1～R3

③ 課題解決・方針達成の経緯と成果

●歴史的風致活用国際観光支援事業

当市の歴史的風致は、視覚的な解説がなくても理解できるものもあるが、散策を主とする外国人観光客には、容易に理解できない文化遺産も多く、歴史的風致が正しく理解されないことが予想された。

当市を観光散策の際、歴史的風致を正しく理解して、楽しみながら散策を行えるように「歴史的風致活用国際観光支援事業」を活用した外国語版のパンフレット・マップを作成し、駅や文化財施設など観光拠点に配置した。

マップ内にはQRコードを記載し、スマートフォンから観光施設、歴史施設などのwebを通じて解説を行い、設置スペースや予算を取る案内板や説明板などの公共サインをスマートフォンで代替できるようなコンテンツの作成を行った。



■多言語パンフレット

●日本遺産を活用した歴史文化の発信事業

令和元年に2件、令和2年に1件市の歴史文化に関わるストーリーが日本遺産の認定を受けた。

日本遺産認定に伴い、構成文化財など10件に説明看板を設置した。また、宮光園白蔵内に日本遺産ビジターセンターを設置し説明看板には英語の説明も併記した。

④ 自己評価

歴史的風致活用国際観光支援事業として、多言語版のパンフレット作成し、駅や観光拠点に配置したことにより、海外から訪れた観光客へスムーズに対応することができた。

また、日本遺産認定の効果により、日本遺産ストーリーと重なる歴史的風致についてはより歴史や文化を情報発信する機会が多くなった。

⑤ 今後の対応

公共サインに関しては、引き続き関係課と連絡を取り合いながら国内外の観光客に優しいサインの設置を実施していく。また、情報発信の面ではSNS等の利活用方法を検討し効果的な発信と外国語への対応を、スマートフォン等を持っていない、または活用していない観光客のために、必要な所に公共サインを設置を検討する。

市町村名	甲州市	評価対象年度	H29～R3年
効果	i 文化財の保存・活用の充実		

① 効果の概要

文化財をユニークベニュー（特別な会場）とした文化イベント開催

② 関連する取り組み・計画

	他の計画・制度	連携の位置づけ	年度
1	市内伝統芸能・祭典継承事業	あり	H29～R3
2	甲州市観光振興計画（R2～第三次）	あり	H29～R3

③ 効果発現の経緯と成果

当市には多くの有形・無形の文化財が所在しており、指定・登録件数は山梨県一である。これら文化財の保存・活用を図りながら展示できる施設や、文化財について総合的な情報発信拠点施設の検討が必要である。

●市が管理する文化財施設について

当市が管理する文化財施設については、重要文化財旧高野家住宅（甘草屋敷）、甲州市近代産業遺産宮光園、旧田中銀行博物館、ぶどうの国文化館があり、それぞれの施設の特性を尊重しながら、活用や情報発信に努めた。

また、情報発信の手段として音楽、芸術、民芸等とのコラボレーションにより集客を行いつつ、外部の人々への情報発信や地元住民への文化財の価値の認識や保存に対する啓発を行った。

旧高野家住宅において（甘草屋敷）は、敷地内の文庫蔵を利用した子ども図書館（塩山図書館分館）を開館しており、地域住民に親しみやすい文化財として活用をされている。

●市内寺社仏閣について

歴史的風致内にあり、文化財になっている市内寺社の協力のもと、音楽、芸術、民芸等の発表会を開催した。

文化財をユニークベニュー（特別な会場）とした文化イベントを開催することによって、文化財をより多くの方に触れ、理解を深めている機会となった。

年度	H29	H30	R1	R2	R3
開催件数	6件	6件	9件	0件	1件



■甘草屋敷 気軽に落語を楽しむ会（R1.8.25）



■宮光園コンサート（H29.04.22）
海外のアーティストによる演奏会。



■向嶽寺ヴァイオリンコンサート（R1.9.7）
歴史的風致内にある寺社協力のもと、特別な演奏会を開催した。

④ 自己評価

市が管理する文化財施設だけでなく、市内の文化財指定を受けている寺社と協力して、音楽・民芸等のコンサートや展示会を行ったことにより、地元住民のみならず市外の方も文化財への理解を深めることができた。

⑤ 今後の対応

コロナ禍の中で大人数を集客して開催するイベントの開催が困難ではあるが、文化財をより理解し、身近なものとして親しみが持てるように、情報発信・活用イベントを継続して行っていきたい。

市町村名	甲州市	評価対象年度	H29～R3年
効果	ii 景観保全に関する意識の醸成		

① 効果の概要

景観改善事業を通して育む意識の醸成

② 関連する取り組み・計画

	他の計画・制度	連携の位置づけ	年度
1	甲州市景観計画	あり	H29～R3
2	甲州農業振興地域整備計画	あり	H29～R3
3	重要文化的景観選定に向けた取り組み	なし	H29～R3

当市の景観計画は、市民生活や産業構造の変化に対する景観的課題の顕在化に対応し、当市の景観政策の充実と向上を図ることにより、当市固有の景観を守り、創り、育て、次世代に継承できる「果樹園と歴史・文化が織りなす魅力あふれる美しいまち」を実現することを目的として、市域全体を対象として策定された。

景観形成重点地区に設定されている地区はまだないが、候補地の多くが当市の歴史的風致と重なり、あるいは関係性があるため、事業展開に併せ景観行政と連携し、歴史的風致の維持向上に努めると共に、屋外広告物の制限についても、甲州市独自の屋外広告物条例の設置に努めていく。

③ 効果発現の経緯と成果

甲州市景観計画に基づく景観計画区域の全域を対象に、景観計画に基づく「届出対象行為」に該当する全ての建築・工作物について「甲州市色彩景観づくりの手引き」により色彩の制限を設けている。

●甲州市自然色ネット等資材購入補助金

色彩による景観形成の一環として、当市に数多く点在する果樹園に使用する防風ネット等の資材に対し「甲州市自然色ネット等資材購入補助金交付要綱」を定め、自然色の資材を購入する者に3万円を上限とした（補助率50%）補助事業を実施した。

補助金申請件数	H29	H30	R1	R2	R3
ネット	17件	12件	10件	6件	9件
ペンキ	2件	2件	1件	1件	7件

●景観改善事業（ガードレール塗り）

平成26年度から毎年、地元住民やボランティアを募り、白いガードレールを景観配慮色（甲州ブラウン）に塗装し、より魅力的な景観に改善していく景観形成協働事業を実施している。

④ 自己評価

地元住民やボランティアと協働して、ガードレールを景観配慮色に塗装する景観形成協働事業を通して、景観に対する意識を高めていくことができた。また、甲州市自然色ネット等資材購入補助金を活用し、地元住民が自主的に自然色ネット・ペンキで景観づくりに取り組んでいった。



通常の防風ネット



自然色ネット



■景観改善事業（ガードレール塗り）
（平成30年度）

⑤ 今後の対応

届出された建築物等の中間検査を実施し、当初届出から屋根及び外壁の色彩に変更があった場合には、変更届を依頼し指導していく。また、地域特性を生かしたまちなみにしていくため、景観形成重点地区設定を目指し、地域に合った色彩の制限等を設ける。

市町村名	甲州市	評価対象年度	H29～R3年																
効果	iii 観光交流客数の増加																		
<p>① 効果の概要</p> <p>日本遺産を活用した広域的かつ効果的な情報発信</p>																			
<p>② 関連する取り組み・計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>他の計画・制度</th> <th>連携の位置づけ</th> <th>年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>甲州市観光振興計画(R2～第三次)</td> <td>あり</td> <td>H29～R3</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>歴史的風致散策・文化財活用</td> <td>あり</td> <td>H29～R3</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>日本遺産推進事業</td> <td>なし</td> <td>R1～R3</td> </tr> </tbody> </table> <p>当市の維持向上すべき歴史的風致は、当市の特徴を遺憾なく発揮した固有の資源であり、これを維持向上するのは、歴史や文化、伝統を今後のまちづくりに活かそうとする市のアイデンティティの確立のためであると同時に、観光資源としてより多くの交流人口を増やす施策のためでもある。市民だけでなく、市の内外に広く発信し多くの見学者を招き入れることで、当市固有の歴史的風致が認識され、維持向上しようとする意識の高揚につながるものとする。</p>					他の計画・制度	連携の位置づけ	年度	1	甲州市観光振興計画(R2～第三次)	あり	H29～R3	2	歴史的風致散策・文化財活用	あり	H29～R3	3	日本遺産推進事業	なし	R1～R3
	他の計画・制度	連携の位置づけ	年度																
1	甲州市観光振興計画(R2～第三次)	あり	H29～R3																
2	歴史的風致散策・文化財活用	あり	H29～R3																
3	日本遺産推進事業	なし	R1～R3																
<p>③ 効果発現の経緯と成果</p> <p>●山梨県観光入込客統計調査</p> <p>山梨県では、観光庁が定めた「観光入込客統計に関する共通基準」に基づいて「山梨県観光入込客統計調査」を実施している。※平成22年4月より導入。</p> <p>平成29年度の2,045,255人と平成30年度の2,470,783人を比較すると、20%観光客入込客数が増加している。増加した要因としては、「2018富士の国やまなし国体」が開催されたことが影響されている。1年のうちでブドウ収穫の最盛期の夏期から秋期の紅葉シーズンが観光入込客数が増加する傾向がある。</p> <p>当市の歴史的風致向上計画が策定した平成29年度と令和元年度の観光入込客数を比較すると6%減少している。</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大し、自粛要請を受けた令和2年度は前年比で46%減少した。</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="flex: 1;"> <p>●広域的かつ効果的な情報発信</p> <p>平成29年度から豪華寝台列車「TRAIN SUITE四季島」が当市のJR塩山駅へ立ち寄るルートが設定された。平成29年度から令和2年度は、甲州市近代産業遺産宮光園が見学地に選定され、令和3年度からは日本遺産「ワイン文化140年史」の構成文化財になっている市内ワイナリーが見学地に選定されている。</p> <p>また、日本遺産「ワイン文化140年史」は茨城県牛久市と共同して事業を実施しており、両市連携した広域的な情報発信を可能とした。</p> </div> <div style="flex: 1;"> <table border="1"> <caption>観光入込客実人数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>2,021,800</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>2,045,255</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>2,470,783</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>1,942,528</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>1,061,201</td> </tr> </tbody> </table> </div> </div>				年度	実人数	H28	2,021,800	H29	2,045,255	H30	2,470,783	R1	1,942,528	R2	1,061,201				
年度	実人数																		
H28	2,021,800																		
H29	2,045,255																		
H30	2,470,783																		
R1	1,942,528																		
R2	1,061,201																		
<p>④ 自己評価</p> <p>JRクルーズトレイン「TRAIN SUITE四季島」により、大規模に集客し、広域的かつ効果的な情報発信をしていくことができた。コロナ禍以降は、小規模なツアーや個人旅行客の満足度を上げていくため、文化財施設・観光施設の対応の充実に努めた。</p>																			
<p>⑤ 今後の対応</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大以降、小規模なツアーの企画や個人客も対応できるガイド養成など行っていくとともに、他の文化・観光施設や固有の資源・サービスを連携させ、広域的かつ効果的な情報発信の方法を検討する。</p>																			

市町村名	甲州市	評価対象年度	H29～R3年
取り組み	A重要文化財旧高野家住宅美装化事業	種別	歴史的風致維持向上施設
<p>① 取り組み概要</p> <p>●重要文化財旧高野家住宅美装化事業</p> <p>重要文化財旧高野家住宅は当市が所有管理する保存民家として、公開活用に使っている。巽蔵は展示室として、文庫蔵は「甘草屋敷子ども図書館」（市立塩山図書館分館）として活用している。</p> <p>重要文化財旧高野家住宅の附属屋のうち4棟（文庫蔵・地実棚・巽蔵・裏門）については、外観の経年劣化が著しく、重要文化財として保存・管理を行うため平成28年度から平成30年度までの期間、外装の美装化を実施した。</p> <p>平成29年度事業としては、「文庫蔵」外壁の黒漆喰塗装工事と「地実棚」の茅葺屋根の葺替工事を行った。</p> <p>平成30年度事業としては、「巽蔵」屋根軒先風返板取替工事と「裏門」の柿の部分修理工事を行った。</p>			
		美装化前	美装化後
			
		■旧高野家住宅 附・文庫蔵(平成29年度)	
			
		■旧高野家住宅 附・地実棚(平成29年度)	
			
		■旧高野家住宅 附・裏門(平成30年度)	
<p>② 自己評価</p> <p>巽蔵及び文庫蔵は、附属屋では最も活用が多く、特に文庫蔵は子ども図書館として親子や小・中学生の利用があり、外観の美装化をすることで普段利用している施設が重要文化財であるとの意識が高めることができた。</p>			
外部有識者名			
外部評価実施日			
③ 有識者コメント			
④ 今後の対応			

市町村名	甲州市	評価対象年度	H29～R3年
取り組み	B塩山駅周辺都市再生整備計画事業	種別	その他
<p>① 取り組み概要</p> <p>●塩山駅周辺都市再生整備計画事業 甲州市の玄関口であるJR塩山駅南口ロータリーが令和5年3月にリニューアルオープンし、ロータリー及びイベント等が開催できるスペースが完成する。 令和3年度に歩道に沿って歩行者用屋根の設置や東西を結ぶ横断歩道を新設し、歩行者の通行の不便さを解消。障害のある方や高齢者、子ども連れの方に配慮したバリアフリー化やユニバーサルデザインに沿った施設となる。 令和4年度には、市民の交流空間やイベント等が開催できる広場が完成し、豪華寝台列車トランスイット四季島の停車駅となっているなど、インバウンドに対応した空間的にも魅力的な駅となる。また観光客等の受け入れができるパークアンドウォークを強化するため、駅周辺の駐車場整備も同時に行う。 特に、駅周辺には歴史文化財などが多数存在しているため、それら施設の探訪者が集える駅前広場としてリニューアルする。</p>  			
<p>●イベント活用 地域散策を通して、現在行われている塩山駅南口再開発事業の進捗状況と完成イメージを地域住民と共有した。</p> <p>■武田信玄公生誕500年記念武田家の史跡散策参加者20名 (R3.9.25)</p>  			
<p>② 自己評価</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、駅利用者及び観光客は大幅に減員され、駅周辺の活性化は見受けられない。しかし広場整備が8割完成し、令和4年度末で完成を迎えるにあたり、①の取組による駅のリニューアルは、アフターコロナやwithコロナ社会においても、色々な活用方法が見出されると期待している。</p>			
外部有識者名			
外部評価実施日			
<p>③ 有識者コメント</p>			
<p>④ 今後の対応</p>			

市町村名	甲州市	評価対象年度	H29～R3年
歴史的風致	1 武田信玄の菩提寺・恵林寺の「しんげんさん」にみる歴史的風致	状況の変化	維持
対応する方針	I 歴史的建造物等の保存・活用 V 歴史的風致の認識向上と情報発信		

① 歴史的風致の概要

乾徳山恵林寺は塩山小屋敷にある臨済宗妙心寺派の寺院で、武田信玄の菩提寺である。天正10年の武田家滅亡直後、織田の軍勢により焼き討ちに遭った。現在の恵林寺の伽藍は、その後すぐに徳川家康の命により末宗禅師が復興した境内を基に、宝永元年に整備したものと考えられる。境内の様子は創建時とは異なっていると思われるものの、境内を含む周辺には、江戸時代以降の様子を伝える町並みや、名勝庭園や一帯に水を供給する水路が残る。

恵林寺では毎年、信玄の命日である4月12日に信玄公忌の法要と武田不動尊祭典が盛大に執り行われ、信玄の遺徳を偲ぶ。恵林寺とその周辺に残る町並み、祭典「しんげんさん」は武田信玄にまつわる貴重な歴史的風致である。

② 維持向上の経緯と成果

●歴史的風致散策

当市の歴史的風致を深く理解してもらうため、「甲州市歴史的風致維持向上計画」をテキストに、歴史的風致の散策会を定期的に開催した。

【恵林寺「しんげんさん」にみる歴史的風致に関する散策】

- ・第5回歴史的風致散策 参加者8名(H28.8.28)
- ・第9回歴史的風致散策 参加者25名(H29.4.16)
- ・第16回歴史的風致散策 参加者30名(H30.8.18)他

また、「武田の聖地フットパス」として市観光商工課と連携して、歴史的風致内を巡る見学会を実施した。

●武田不動尊にかかる新たな発見

令和2年、山梨県立博物館にて企画展「生誕500年武田信玄公の生涯」が開催されるに際し、武田信玄の菩提寺・恵林寺所蔵の「木造不動明王及二童子像(山梨県指定文化財)」(※通称「武田不動尊」)を貸出を行った。

貸出に伴い、学術調査を実施した結果、「武田不動尊」は元亀3年(1572)4月に京都の造仏所「七条西仏所」の仏師・康住によってつくられたことが判明した。

武田信玄が自らをモデルにつくらせたと伝わる武田不動尊の制作時期及び制作者が新たに発見されたことは、当該歴史的風致をより意識づける契機となった。



■第9回歴史的風致散策 (H29.4.16)
恵林寺 明王殿にて



■木造不動明王(山梨県指定文化財)

像の底部にある小穴からファイバースコープを挿入したところ、顎周辺の内部に「七条大仏大●法印 康住造」との銘文や、信玄他界の1年前にあたる「元亀三年四月●日」の日付が墨書きされていたことがわかった。

③ 自己評価

令和3年は「武田信玄公生誕500年」の年であったこともあり、庁内の他課と連携し、当該歴史的風致を巡る散策会やイベントを多く実施することができた。

また、令和2年に実施した「武田不動尊」の学術調査によってもたらされた新たな発見は、当該歴史的風致をより意識づける契機となった。

④ 今後の対応

当該歴史的風致は武田家の聖地として重要な地でもある。今後も継続して歴史や文化、今に受け継がれている歴史的風致を市内外に広く情報発信を行っていくとともに、現地散策など地域を巡り、学ぶイベントを開催していきたい。

市町村名	甲州市	評価対象年度	H29～R3年
歴史的風致	2 熊野神社の御幸行列にみる歴史的風致	状況の変化	維持
対応する方針	I 歴史的建造物等の保存・活用 IV 歴史と伝統を反映した人々の活動の支援 V 歴史的風致の認識向上と情報発信		

① 歴史的風致の概要

熊野神社は、重川を挟んで右岸（西側）の塩山熊野、塩山西広門田、左岸（東側）の塩山西野原、勝沼町山の4地区の氏神であり、例大祭では、重川の水防祈願と子孫繁栄を祈願する御幸行列が仕立てられ、各地区を渡御する。氏子の4地区は、重川や鬢櫛川の氾濫による扇状地であるため肥沃な土地である一方、水害に悩まされる地域でもあった。そのなかにあつて高台に位置する勝沼町山は水害が少なく、江戸後期から明治までに形作られた町並みが現在も残る。

各地区を巡った行列が熊野神社に集結し、4地区の行列が出揃う様子は圧巻で、地域の人々が守り伝えてきた行事や歴史が現在も伝承されている。

② 維持向上の経緯と成果

●山村打ちばやし活性化事業（令和元年度）

打ちばやしは、熊野神社の例大祭の渡御行列にて行われる笛に合わせてバチさばきを演じる伝統太鼓芸である。演じるのは家を継ぐ跡取り（長男）に限られていたが、少子化に伴い、跡取りに限らず男女関係なく参加することで対応している。

伝統の継承と世代間や地域間を超えてのコミュニティの場として、打ちばやしを活用していくために、地元小学校と連携して打ちばやしの歴史学習、パンフレット作成による周知活動、祭典でのお披露目を実施した。

また、打ちばやしを披露するあたり、袴・浴衣の破損等の修繕を行った。



■山村打ちばやし(R1.10.15)

●熊野神社所蔵絵画の特別公開（令和3年度開催中止）

戦国期には於曾氏や武田家と深く関わった「菅田天神社」と甲州の四大熊野と呼ばれる大社の一つである「熊野神社」「若宮八幡神社」の三社を巡る散策会で、当該歴史的風致に深く関係する熊野神社所蔵絵画の特別公開をする予定だった。

※新型コロナウイルス感染拡大による自粛要請を受けて、開催中止となった。



■熊野神社所蔵絵画（県指定文化財）

③ 自己評価

劣化損傷が課題であった袴・浴衣の修繕を実施し、より魅力ある伝統芸能の継承・発信をすることができた。また、山村打ちばやし活性化事業を実施したことにより、「打ちばやし」という伝承芸能の継承について、地域で考える契機となった。

④ 今後の対応

魅力ある伝統芸能の継承のため、市内伝統芸能・祭典継承事業を継続して実施する。また、担い手の高齢化等もあり、今後伝統芸能・祭典継承が困難になっていくことが予想されるため、積極的に若者に啓発していくとともに、地域のコミュニティの活性化を努める。

市町村名	甲州市	評価対象年度	H29～R3年
歴史的風致	3 武田家終焉の地にみる歴史的風致	状況の変化	維持
対応する方針	I 歴史的建造物等の保存・活用 IV 歴史と伝統を反映した人々の活動の支援 V 歴史的風致の認識向上と情報発信		

① 歴史的風致の概要

大和地域は「武田家終焉の地」であり、武田勝頼公の菩提寺である天童山景德院をはじめ、土屋惣藏片手斬跡や鳥居畑古戦場跡など関連史跡が数多く点在し、大切に守り続けられてきた。

田野地区の小正月行事として受け継がれてきた県指定無形民俗文化財「田野十二神楽」は、江戸時代前期後半頃から伝承されているが、景德院境内にある道祖神場（御霊屋）で披露される田野十二神楽の獅子舞は勝頼らの鎮魂に欠かせないものでもある。毎年4月11日（旧暦3月11日武田勝頼公命日）に開催される「武田勝頼公まつり」では、武田一族の霊を慰め、甲斐を支配した権勢を語り伝えるなど、武田家や勝頼公を思う心がうかがえる。子どもたちは家庭や学校で故郷が「武田家終焉の地」であることを学び、地域学習に取り組む中で郷土愛を育んでいる。

② 維持向上の経緯と成果

●歴史的風致散策

当市の歴史的風致を深く理解してもらうため、「甲州市歴史的風致維持向上計画」をテキストに、歴史的風致の散策会を定期的で開催した。

【武田家終焉の地にみる歴史的風致に関する散策】

- ・第4回歴史的風致散策 参加者15名（H28.2.21）
- ・第11回歴史的風致散策 参加者33名（H29.8.20）
- ・第15回歴史的風致散策 参加者37名（H30.6.23）
- ・第20回歴史的風致散策 参加者20名（R3.11.7）他

※R2～3年度は新型コロナウイルス感染予防のため、参加者を人数制限して実施した。

また、「武田の聖地フットパス」として市観光商工課と連携して、歴史的風致内を巡る見学会を実施した。

●市内伝統芸能・祭典継承事業

伝統芸能・祭典である「田野十二神楽（県指定民俗文化財）」について、団体に補助金を交付して伝統芸能の継承を図るとともに、団体の維持運営状況の把握に努めながら支援を行った。また、後世まで継承されるよう、主催者に資料や情報を提供、記録撮影を行った。

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を中止した。



■第15回歴史的風致散策（H30.6.23）
景德院 武田勝頼墓所にて



■田野十二神楽（R4.1.15）

③ 自己評価

令和3年は「武田信玄公生誕500年」の年であったこともあり、庁内の他課と連携し、当該歴史的風致を巡る散策会やイベントを多く実施することができた。

④ 今後の対応

当該歴史的風致は武田家の聖地として重要な地でもある。今後も継続して歴史や文化、今に受け継がれている歴史的風致を市内外に広く情報発信を行っていくとともに、現地散策など地域を巡り、学ぶイベントを開催していきたい。

市町村名	甲州市	評価対象年度	H29～R3年
歴史的風致	4 神部神社と金井加里神社の祭礼にみる歴史的風致	状況の変化	向上
対応する方針	I 歴史的建造物等の保存・活用 Ⅲ 歴史的建造物等を取り巻く周辺環境の景観保全 V 歴史的風致の認識向上と情報発信		

① 歴史的風致の概要

明治8年に上萩原村、上小田原村、下小田原村が合併し、「神金村」が成立した。村名は、重川左岸に鎮座する神部神社と右岸に鎮座する金井加里神社の頭文字をとって命名された。昭和29年の塩山市誕生により「神金村」という名はなくなったが、現在でも「神金地区」と呼ぶ。

神金地区には伝統的な山村風景が現在まで残されている。中でも神部神社と金井加里神社の氏子が住む旧上萩原村・上小田原村・下小田原村の周辺には、茅葺切妻造主屋のある伝統的な集落の景観がよく残されており、今も地域の伝統行事が地域の人々により守り伝えられている。

② 維持向上の経緯と成果

●説明看板・案内看板設置

平成30年度については、当該歴史的風致に所在している福蔵院・金井加里神社・神部神社に説明看板、国道入り口に駐車場の案内看板を設置し、見学者の利便性の向上を図った。また、福蔵院に設置していた仮設トイレが老朽化したので撤去した。



■説明看板・案内看板設置

●上条集落見学会

当該歴史的風致の範囲であり、伝統的建造物群保存地区に選定されている上条集落を巡る見学会を定期的に開催した。平成31年度は、通常の集落見学に加え、「神部神社と金井加里神社の例大祭」に参加する見学会を実施した。

また、地元小学校ではふるさと学習として上条集落を学ぶ校外学習を実施し、毎年各学年でテーマを決め、「ふるさと学習発表会」を開催している。



■第19回上条集落見学会(H30.5.27)

③ 自己評価

当該歴史的風致に所在している文化財に対し、説明看板・案内看板を設置したことにより、見学者の利便性が向上することができた。

また、定期的に現地を巡る見学会を実施したことにより、当該歴史的風致の理解を深めるとともに、地元住民だけでなく、市内外へ広く周知をすることができた。



■神部神社と金井加里神社例大祭(H31.3.31)

④ 今後の対応

甲州市塩山下小田原上条伝統的建造物群保存地区について、駐車場やトイレなどの公益施設の整備を行い、地区内の環境を整える。計画にあたり甲州市塩山下小田原上条伝統的建造物群保存地区保存整備事業と併せて、伝建地区内での住民との密なコミュニケーションを取りながら、住民要望を押さえつつ計画を実施していく。

また、歴史的風致形成建造物の候補である金井加里神社本殿（県指定文化財）及び神部神社本殿（県指定文化財）が経年による劣化が著しいため、関係者との協議を行い、修理計画を立てていく。

市町村名	甲州市	評価対象年度	H29～R3年
歴史的風致	5 塩ノ山南麓の市街地の営みにみる歴史的風致	状況の変化	維持
対応する方針	I 歴史的建造物等の保存・活用 III 歴史的建造物等を取り巻く周辺環境の景観保全 V 歴史的風致の認識向上と情報発信		

① 歴史的風致の概要

「塩山」の地名の由来になった塩ノ山がある塩山上於曾は、甲州市役所や塩山駅が集まる市の中心地であるが、近世までは単に平地の農村にすぎなかった。転機は明治36年の鉄道開通と、それに伴う塩山駅の開業にある。近世を通して大きな武家屋敷が残った下於曾に対し、街道沿いに発展した経済中心地の千野という特徴が明確となり、その間に挟まれた上於曾は農地が保存された。鉄道開通に伴って上於曾に塩山駅が置かれたことにより、周辺の農地が市街地や商店等に整備され、東山梨で随一の繁栄をみせた。「甲州市」となった現在に至るまで市の中心地となっているが、を代表する歴史や文化財が保存されている地でもある。

② 維持向上の経緯と成果

● 於曾屋敷環境整備事業

「於曾屋敷（県指定史跡）」は中世豪族の屋敷跡で、これを公有化し整備するとともに、周辺に駐車場やトイレなどの公益施設を配置し、公園として利活用を図った。

「於曾屋敷」に隣接し、当市の都市公園である「於曾公園」については、「甲州市都市公園バリアフリー化に伴う整備事業」として、都市公園による安心・安全の確保と地域における災害対応力の向上を目標に、社会資本整備総合交付金（防災・安全対策）を利用した隣接民地の公有地化による拡張を行った。



● 歴史的風致散策・イベント

当市の歴史的風致を深く理解してもらうため、「甲州市歴史的風致維持向上計画」をテキストに、歴史的風致の散策会を定期的に開催した。

- ・第1回歴史的風致散策（H27.11.20）
- ・武田信玄公生誕500年記念武田家の史跡散策
参加者20名（R3.9.25）他

● ユニークベニュー

「於曾屋敷」をユニークベニュー（特別な会場）としてお茶会を開催した。日本のサブカルチャー（コスプレ）とコラボレーションし、より文化財への愛着や理解促進を目指した。



■ 於曾屋敷コスプレ茶会（R1.10.27）



■ 駐車場・トイレを新設
平成29年度には、老朽化したトイレの代わりに、新たに多機能トイレを設置して利便性向上を図った。

③ 自己評価

於曾屋敷環境整備事業で、駐車場やトイレなどの公益施設を配置し、地域の公園としての利活用を図ることができた。

④ 今後の対応

当該歴史的風致の中心地である塩山駅を「塩山駅周辺都市再生整備計画事業」として、現在リニューアルを実施している。当市を訪れる観光客に歴史的建造物や史跡に訪れ、より当該歴史的風致の魅力に触れていただけるように、広く情報発信を行っていきたい。

市町村名	甲州市	評価対象年度	H29～R3年
歴史的風致	6 甲州街道勝沼宿にみる歴史的風致	状況の変化	向上
対応する方針	I 歴史的建造物等の保存・活用 V 歴史的風致の認識向上と情報発信		

① 歴史的風致の概要

甲州街道は江戸時代に五街道の1つとして開設され、江戸の繁栄とともに物資が行き交う経済交流の道として発展し、勝沼宿は元和4年に新規宿駅として設置されたと記録にある。甲府盆地の東の玄関口にあり、江戸の接点として、多くの物資が集散する中心地としてにぎわった。

勝沼宿が設置されて以来、勝沼は道中における要所となり、交通、文化、経済の中心地となった。そして甲州ブドウは甲斐国と江戸を結ぶ甲州街道勝沼宿の特産品として広まり名声を高めていった。今日でも、江戸時代からの商家など旧街道の面影を残す町並みと、ぶどうまつりや鳥居焼きなどの活動が歴史的風致を形成している。

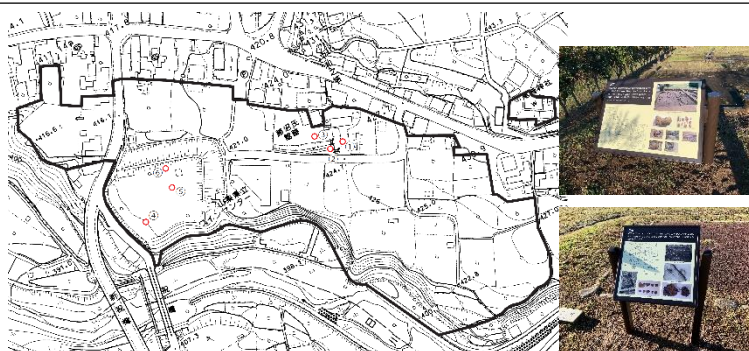
② 維持向上の経緯と成果

● 史跡勝沼氏館跡保存整備事業

史跡勝沼氏館跡(国史跡)について、整備完了後の経年劣化による修理必要箇所や、未発掘用地、未買収用地があるため、計画的に再整備を実施するほか、土地の公有化、発掘調査などを実施し整備を行う必要がある。

平成29年度は、館跡内に設置された東屋の再整備、勝沼氏館跡の家臣屋敷地と推定される民地の買上げを実施した。

令和元年度は、遺構説明板を6基設置を行った。



■勝沼氏館跡の遺構説明板 6基設置(令和元年度)

● 史跡勝沼氏館跡トイレ休憩所機能強化工事

平成30年度は史跡勝沼氏館跡のトイレ休憩所の機能強化のため、再整備を実施した。

● 新規登録された市内の登録有形文化財(建造物)

市内に点在する文化財について、現状の調査・再点検等を行い、文化財価値の向上と保存、維持の方針を検討した。平成29年度は、当該歴史的風致内に新たに8件の建造物が登録有形文化財(建造物)に登録され、文化財保存環境の整備を行った。

③ 自己評価

史跡勝沼氏館跡の保存整備事業・トイレ休憩所機能強化工事を実施したことにより、地域を訪れる見学者への利便性が向上した。また、当該歴史的風致内にある歴史的建造物を国登録有形文化財に登録する取り組みを実施したことにより、価値の再認識や意識の醸成に繋がった。



■萩原家住宅（平成29年度）

④ 今後の対応

当該歴史的風致は他の歴史的風致とともに重なり合い、県内外からの観光客が多く訪れる地域でもある。当該歴史的風致への理解を深める現地見学会を実施していくとともに、観光客がより見学しやすくなるよう情報発信に努めていく。

市町村名	甲州市	評価対象年度	H29～R3年
歴史的風致	7 大善寺の藤切り祭にみる歴史的風致	状況の変化	維持
対応する方針	I 歴史的建造物等の保存・活用 IV 歴史と伝統を反映した人々の活動の支援 V 歴史的風致の認識向上と情報発信		

① 歴史的風致の概要

大善寺は真言宗智山派の寺院で、薬師如来を本尊としている。山号は柏尾山といい、柏尾山寺、柏尾寺とも呼ばれた。甲斐源氏をはじめ歴代の武田家の手厚い保護を受けて栄え、全盛期には柏尾山一円に五十二堂、三千坊を有した大寺院であったと伝えられている。創建時期については寺伝によると、養老2年に僧行基が開創したといい、大善寺が甲州ブドウの発祥の地とも伝えている。

藤切り祭は『甲斐国志』に記述があり、江戸時代中頃には行われていたが、修験の祖・役行者の事績を取り上げていることから、さらに深い歴史をもっているものと考えられる。もとは大善寺に集まる修験、山伏が執行しており、明治時代の修験禁止令以後、大善寺と大善寺檀家が執り行うようになったが、勇壮な祭りの雰囲気は変わらない。

② 維持向上の経緯と成果

●市内伝統芸能・祭典継承事業

伝統芸能・祭典である「柏尾大善寺の藤切り祭（県指定民俗文化財）」について、団体に補助金を交付して伝統芸能の継承を図るとともに、団体の維持運営状況の把握に努めながら支援を行った。また、後世まで継承されるよう、主催者に資料や情報を提供、記録撮影を行った。



【柏尾大善寺の藤切り祭】

- ・藤取り (R1.5.2)
- ・旗立て (R1.5.5)
- ・藤切り祭 (R1.5.8)
- ・旗ころばし (R1.5.9)

※令和2年度・令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、関係者のみで縮小開催した。

■柏尾大善寺の藤切り祭(R1.5.8)

●日本遺産「葡萄畑の織りなす風景」認定（令和元年度）

当市を訪れる観光客が、当市に点在する歴史的建造物や名所・旧跡を見学しやすいように、案内板や説明板、誘導標識などの公共サインを設置することが必要である。

令和元年度については、日本遺産「葡萄畑の織りなす風景」認定に伴い、構成文化財である大善寺とJR勝沼ぶどう郷駅前には説明看板の設置事業への協力を行った。



■大善寺 日本遺産説明看板（令和元年度）

③ 自己評価

日本遺産認定が追い風となり、当該歴史的風致にも深く関わる歴史・文化を紹介する英語版案内看板を整備することができた。

また、毎年地元小中学校が校外学習で大善寺を訪れ、現地で積極的に学びを深めることができた。



■地元小中学校 校外学習（令和2年度）
大善寺本堂にて

④ 今後の対応

新型コロナウイルス感染対策により、令和2年度から「柏尾大善寺の藤切り祭」が関係者のみの縮小開催となっているが、魅力ある伝統芸能の継承のため、継続して市内伝統芸能・祭典継承事業を実施していく。

市町村名	甲州市	評価対象年度	H29～R3年
歴史的風致	8 コロガキ生産にみる歴史的風致	状況の変化	維持
対応する方針	I 歴史的建造物等の保存・活用 II 農業景観の保全 V 歴史的風致の認識向上と情報発信		

① 歴史的風致の概要

塩山の松里地区は明治時代に誕生した旧松里村で5地区からなる。300坪以上あるような屋敷を構えている家々が連なり、地区内には恵林寺や放光寺、松尾神社など、大きな社寺が点在する。松里地区を代表する農産物であるコロガキについて、江戸時代に普及した「甲州八珍果」のなかにカキがあり、これはコロガキのことを指していたものと考えられる。将軍家への献上品とされていたが、現在は「松里の枯露柿」としてブランド化され、冬の贈答品として全国から注文を集めている。

コロガキ生産は、秋から冬にかけてこの地区を中心に広く行われる。皮むきされたカキが伝統的な主屋の軒先に所狭しと吊るされると、辺り一面はオレンジ色一色に染まる。色味を失う冬場を彩る松里地区の風物詩である。

② 維持向上の経緯と成果

●農村ワーキングホリデー事業

農村ワーキングホリデー事業は、農業に関心のある人と、農繁期の手助けを必要としている農家を結びつける援農制度である。当市では、ブドウやモモ、スモモの栽培にかかる作業やコロガキづくりにかかる作業を、受入農家に寝泊りして行っている。

・平成29年度受入実績 計7名、うち宿泊6名、日帰り1名
 実施期間：4月2日～11月3日

「農村ワーキングホリデー」事業として、モモ、スモモ、ブドウ、野菜等の農家の手助けを行い、参加者が自らも作業を通じて農業技術の向上を図った。

・平成29年度受入実績 計7名、うち宿泊1名、日帰り6名
 実施期間：11月3日～11月20日

「ころ柿ワーキングホリデー」事業として、松里、塩山、奥野田地区の柿の収穫、皮むき、干し作業等のコロガキづくりの体験を行った。

・平成30年度受入実績 計3名、日帰り3名
 実施期間：11月3日～11月20日

「ころ柿ワーキングホリデー」事業として、松里、塩山、奥野田地区の柿の収穫、皮むき、干し作業等のコロガキづくりの体験を行った。

●市内伝統芸能・祭典継承事業

伝統芸能・祭典である「藤木道祖神祭り(市指定民俗文化財)」について、団体に補助金を交付して伝統芸能の継承を図るとともに、団体の維持運営状況の把握に努めながら支援を行った。※令和2年度・令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を中止した。



■農村ワーキングホリデー



■藤木道祖神祭り(H31.1.14)
 市内伝統芸能・祭典継承事業



■第6回歴史的風致散策(H28.11.20.)
 歴史的風致の解説を加えながら現地散策。

③ 自己評価

農村ワーキングホリデーを通して新規就農者の育成を行っているが、令和2年度から令和3年度はコロナ禍の中で参加者の受入が困難だった。

④ 今後の対応

農村ワーキングホリデー事業など通して新規就農者の育成に努めていくとともに、地域住民・観光客に向けた現地見学会などのイベントを実施し、当該歴史的風致の理解を深めていく。

市町村名	甲州市	評価対象年度	H29～R3年
歴史的風致	9 ブドウ栽培にみる歴史的風致	状況の変化	維持
対応する方針	I 歴史的建造物等の保存・活用 II 農業景観の保全 V 歴史的風致の認識向上と情報発信		

① 歴史的風致の概要

かつて甲州街道を通して出荷されたブドウは、明治36年の鉄道開通により全国各地へ大量に輸送されるようになった。現在、勝沼ぶどう郷駅にはブドウやワイン、あるいはその風景を求めて、多くの観光客が降り立つ。以前は養蚕業が盛んであったため、茅葺切妻造主屋や2階建の棧瓦葺切妻造主屋（養蚕推奨型）が勝沼地域一帯に見られた。果樹中心の農業となった現在は、養蚕当時の面影を残す主屋の前後左右にブドウ棚を架ける勝沼独自の景観をつくりだしている。

甲州種ブドウ発祥伝説として、文治2年勝沼町上岩崎に住む雨宮勘解由が、付近の山で山ブドウの変生種を見つけ改良したというもの、また別に、養老2年諸国を巡っていた僧行基が勝沼柏尾で修行していたところ、ブドウを持った薬師如来が霊夢となって現れたという大善寺伝説が伝わっている。

② 維持向上の経緯と成果

●歴史的風致散策・イベント

当市の歴史的風致を深く理解してもらうため、「甲州市歴史的風致維持向上計画」をテキストに、歴史的風致の散策会を定期的で開催した。

【ブドウ栽培にみる歴史的風致に関する散策】

- ・第7回歴史的風致散策 参加者22名 (H28.12.18)
- ・第10回歴史的風致散策 参加者29名 (H29.6.25)
- ・第16回歴史的風致散策 参加者32名 (H30.3.25) 他

また、文化的景観・世界農業遺産をテーマとした見学会やイベントも実施した。



■第16回歴史的風致散策(H30.3.25)
地元の国立大学と連携して企画開催した。

●日本遺産「ワイン文化140年史」認定

令和2年度については、日本遺産「ワイン文化140年史」認定に伴い、構成文化財である宮光園、伝統あるワイナリー（4件）、宮崎第二醸造場（メルシャン資料館）、祝橋、他4箇所説明看板を設置した。



■旧宮崎葡萄酒醸造場施設
(宮光園)(令和2年度)



■大日影トンネル(令和2年度)



■日本遺産ビジターセンター(宮光園白蔵)
宮光園白蔵内に日本遺産ビジターセンターを設置し説明看板には英語の説明も併記した。



■日本ワインの聖地を巡る散策
(R2.11.7)

③ 自己評価

日本遺産認定が追い風となり、当該歴史的風致にも深く関わる歴史・文化を紹介する案内看板、ビジターセンターなど整備することができた。

④ 今後の対応

日本遺産をはじめ、文化的景観・世界農業遺産など他の事業とも連携しながら、今後も広域的な情報発信を行っていくとともに、地域住民・観光客に向けた現地見学会などのイベントを実施し、当該歴史的風致の理解を深めていく。

市町村名	甲州市	評価対象年度	H29～R3年
歴史的風致	10 笛吹川水系のセギにみる歴史的風致	状況の変化	維持
対応する方針	Ⅱ 農業景観の保全 Ⅴ 歴史的風致の認識向上と情報発信		

① 歴史的風致の概要

塩山地域は松里地区から奥野田地区にかけては緩やかな南面傾斜を呈する土地が広がり、神金地区から流れる重川に沿っては、南西方向に面してやや急な斜面が広がる。地域を流れる河川のうち、塩川・鬢櫛川・文珠川・竹森川などは重川の支流で、重川は塩山地域の西辺をなす笛吹川の支流である。これらの河川が山から土砂を運び肥沃な土地を作ったが、山間部の急傾斜地から短い距離を流れ落ちているため、河岸段丘は深く、本来水の便が悪い土地であった。

これらの土地を、人々が生活し農業を興せる土地に変えたものが、「セギ」と呼ばれる水路のシステムである。笛吹川や重川を水源とするセギは良好な形で、広範囲に渡り残されており、今なお地区住民の手によって維持管理がなされている。中でも笛吹川水系の「藤木セギ」、「小屋敷セギ」、「井尻セギ」は、灌漑のためすだれ状の水路網を形成した様子が現在まではっきりと残っており、一帯の歴史や文化に大きく貢献してきた様子がよくわかる。

② 維持向上の経緯と成果

●セギ普請（河川清掃）

清掃するには水を止める必要があることと、たまった泥や砂礫、ゴミの処理をしやすくするため、塩山地域では毎年4月第一日曜日に「塩山地域一斉河川清掃」が行われる。

笛吹川水系のセギだけでなく、市街地にある側溝に至るまで「泥上げ」をし、多くの市民が参加した。

年度	H29	H30	R1	R2	R3
参加者	6,676	6,598	6,071	中止	6,005



■セギ普請（河川清掃）

●歴史的風致散策・イベント

当市の歴史的風致を深く理解してもらうため、「甲州市歴史的風致維持向上計画」をテキストに、歴史的風致の散策会を定期的に開催した。

【笛吹川水系のセギにみる歴史的風致に関する散策】

- ・第6回歴史的風致散策 参加者7名（H28.11.20）
- ・第9回歴史的風致散策 参加者25名（H29.4.16）
- ・第16回歴史的風致散策 参加者32名（H30.8.18）他



■第9回歴史的風致散策（H29.4.16）
西藤木の水車（市指定文化財）

③ 自己評価

セギ普請（河川清掃）の参加人数が年々減少傾向にある。原因として人口減少と高齢化が大きく関わっていると考えられる。一方で、当該歴史的風致を巡る散策会の参加者は第6回目では7名だったが、第16回目では32名に増え、関心度の高さがうかがえる。

④ 今後の対応

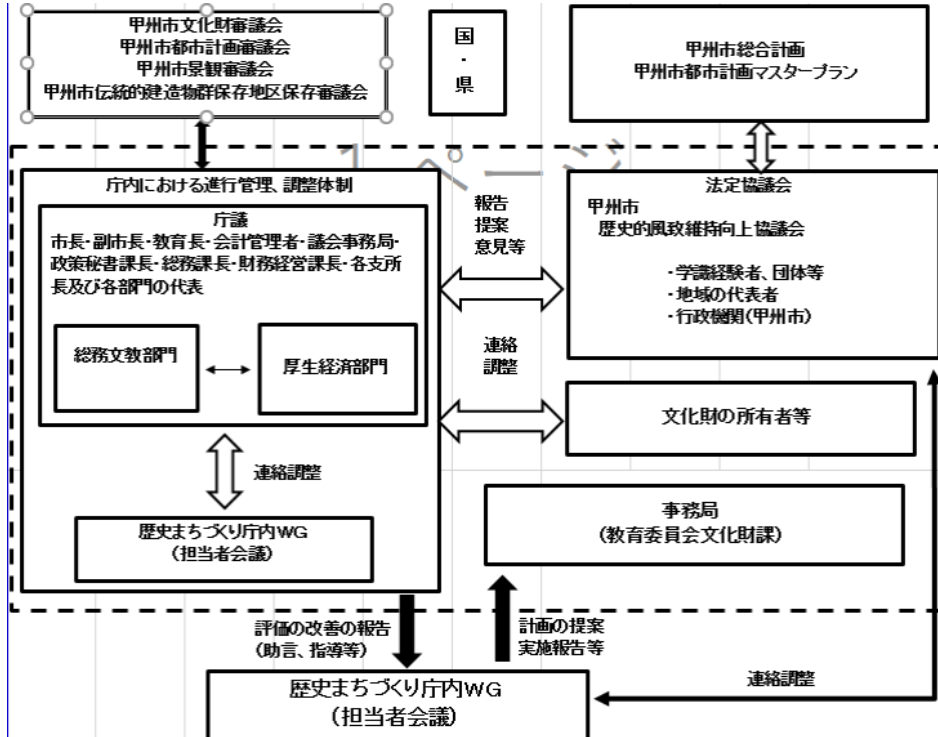
人々が生活し農業を興せる土地に変えた「セギ」と呼ばれる水路のシステムの役割を後世に受け継げるように、今後も現地散策会などを通して広く普及啓発に努めたい。

また、歴史的風致形成建造物の候補である西藤木の水車（市指定文化財）が、経年による劣化が著しいため、関係者との協議を行い、修理計画を立てていく。

市町村名	甲州市	評価対象年度	H29～R3年
------	-----	--------	---------

① 庁内組織の体制・変化

計画の推進、実施にあたっては、甲州市教育委員会文化財課に事務局を置き、庁内関係各課で連携を取りながら連絡調整を図っている。



② 庁内の意見・評価

・事務局である文化財課 まちづくり担当と各課、とくに景観計画の担当課である都市整備課との連携があまりできていなかった。今後は会議を重ねつつ、より他部局同士で情報の共有や連携が強化されることに努める。

市町村名	甲州市	評価対象年度	H29～R3年
<p>① 住民意見</p> <p>◎「勝沼地域の文化的・歴史的な景観とその受け継ぎ方に関する意向調査」（令和3年度）から</p> <p>Q勝沼地域の歴史的・文化的な景観の継承に関する課題は何だと思えますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農業の後継者不足 ・ 耕作放棄地の増加 ・ 観光地としての魅力向上 <p>Q勝沼地域の歴史的・文化的な景観を受け継ぐ場合、行政にはどのような取り組みを期待しますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域づくり活動等に対する行政の支援 ・ ブドウ・ワインのブランディングへの景観資源の活用策の強化 ・ 景観に関する規制・基準の強化 <p>Q将来に受け継ぎたいと思う勝沼地域の景観や文化はどれですか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 四季によって色づきが変わるブドウ畑の景観 ・ ブドウ産地・ワイン醸造地としての誇り ・ 高台（勝沼ぶどう郷駅など）からの眺望 			
<p>② 協議会におけるコメント</p> <p>令和4年5月23日付けで、甲州市歴史的風致維持向上計画協議会の委員の方へ進捗評価シートを郵送。5月30日を締切にし、意見集約を行った。</p> <p>意見特になし</p>			

市町村名	甲州市	評価対象年度	H29～R3年
<p>① 全体の課題</p> <p>1. 「歴史的建造物等の保存・活用」に関わる歴史的風致散の維持及び向上の課題 市内には未だ未指定の歴史的建造物が多くあるが、修理に際して補助金交付がないため所有者の負担になっている。老朽化等により、歴史的価値のある建造物も失われる危険性がある。</p> <p>2. 「歴史と伝統を反映して人々の活動の支援」 歴史と伝統を反映して人々の活動である、祭礼行事、伝統芸能について、担い手の高齢化等もあり、継承が困難になっていく。担い手の確保はまだ十分といえない。</p> <p>3. 「文化財の保存・活用の充実」 市が管理する文化財施設や市内の寺社について、文化財をユニークベニュー（特別な会場）とした文化イベントを開催していたが、コロナの影響でここ近年実施することができていない。</p>			
<p>② 今後の対応</p> <p>1. 今後も指定文化財は文化財保護法に基づき保存・活用を図り、指定文化財以外の建造物は調査を実施するなどして積極的な指定に努める。あわせて、地域の歴史的建造物の保存活用を進めていくことにより、価値の再認識や意識の醸成に繋げる。</p> <p>2. 魅力ある伝統芸能の継承のため、市内伝統芸能・祭典継承事業を継続して実施する。今後とも積極的に若者に啓発していくとともに、地域のコミュニティの活性化を努める。令和4年度には、「一之瀬高橋の春駒」がNHKホールで公演を行う予定である。このように、公に広く魅力を発信できる機会を作るよう努める。</p> <p>3. コロナ禍においては、従来のような大人数でのイベント開催はできないが、少人数で屋外のイベントであれば一定の条件下で行えると思う。今後とも情報発信・活用イベントを継続して行う。</p>			